

株式会社システムサポート
第 45 回定時株主総会 質疑応答要旨

2024 年 9 月 26 日

於：石川県文教会館 1 階ホール

【事前のご質問】

Q1.

「株主優待」について聞かせて欲しい。

A1. (議長、代表取締役社長 小清水)

弊社では株主皆さまにご満足頂ける施策を常に検討しているが、株主優待という形ではなく、剰余金の配当等による株主還元や、企業価値・株式価値の向上を通じて、株主皆さまのご期待にお応えしたいと考えている。

剰余金の配当については累進配当を導入したところであり、業績や利益水準に応じて配当水準の向上を図っていく。

【当日の会場からのご質問】

Q1.

令和 6 年能登半島地震について、1,000 万円寄付の発表があり、社会的責任を取られ良いことをされたと感じた。前期決算では、能登半島地震による影響は軽微であるとのことだが、その他に経費や受注のマイナス要因はどのくらいあったか。またこれからの決算に対してどのくらい影響があるのか、影響が終息しているのか教えてほしい。

A1. (議長、代表取締役社長 小清水)

前期(2024 年 6 月期)は令和 6 年能登半島地震被害に対する 1,000 万円の災害義援金の拠出はあったが、それ以外で M&A 2 件の関連費用として約 3,000 万円や貸倒損失とそれに伴う貸倒引当金繰入として 5,700 万円発生したことが営業利益の未達要因となった。これらは新しい期については影響はない。

Q2.

持株会社移行に先立ち、株式会社コミュニケーション・プランニングを買収された。M&A 自体は

資本効率面でよい効果だと思うが、今後グループ会社になる会社の社風や運営方針は異なるため、グループ会社各社を適切に運営するための方針を教えてください。

A2. (議長、代表取締役社長 小清水)

ホールディングス (HD) 体制になるタイミングで、HD としての社是・経営理念をグループ各社に浸透させる予定。HD になることによってさまざまなシナジー効果が出る予定なので期待してほしい。

Q3.

企業がデジタルトランスフォーメーション (DX) でクラウド移行が増えるということはどういうことか。

A3. (議長、代表取締役社長 小清水)

世の中の傾向として、クラウド移行の流れがある。これまで、多くの会社では自前でハードウェアを持っており、それに対してシステムをインストールして利用していた。ハードウェアは定期的にメンテナンスが必要で、データ量に応じて容量を増やす必要があるなど、維持やセキュリティ対策面で難しいところがある。一方で、クラウドサービスは必要な時に必要な分だけ使えるため可変的な便利さがあり、セキュリティに対する担保も高く安心して利用ができるため、数多くの企業でクラウド移行が進んでいる。

【当日のオンラインからのご質問】

Q1.

新卒採用とキャリア採用のどちらに力を入れていくつもりか。

A1. (議長、代表取締役社長 小清水)

2024 年 6 月期は新卒 106 名、キャリア 120 名を採用した。このバランスは、技術力の向上や社内の文化の継承のために適切だと考えており、今後も新卒採用もキャリア採用どちらも力を入れてバランスよく行っていきたい。

※内容につきましては、ご理解いただきやすいよう部分的に加筆・修正をしております。

以 上